



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月28日

上場会社名 エスリード株式会社
 コード番号 8877 URL <https://www.eslead.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荒牧 杉夫

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 井上 祐造

TEL 06-6345-1880

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	30,546	27.5	2,551	51.6	2,534	52.1	1,556	52.8
2020年3月期第3四半期	42,140	23.7	5,267	26.8	5,287	25.6	3,296	26.4

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,579百万円 (52.6%) 2020年3月期第3四半期 3,330百万円 (29.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	100.89	
2020年3月期第3四半期	213.65	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	88,977	48,160	54.1	3,121.24
2020年3月期	80,494	47,198	58.6	3,058.84

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 48,160百万円 2020年3月期 47,198百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		20.00		20.00	40.00
2021年3月期		20.00			
2021年3月期(予想)				20.00	40.00

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,000	3.8	7,200	9.4	7,000	12.5	4,050	20.1	262.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	15,465,600 株	2020年3月期	15,465,600 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	35,624 株	2020年3月期	35,548 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	15,430,044 株	2020年3月期3Q	15,430,215 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年12月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により4月に日本政府による緊急事態宣言が発令されるなど経済活動が停滞いたしました。同宣言解除後は、個人消費や生産に持ち直しの動きが見られました。しかし、11月以降の同感染症の急速な感染再拡大により、依然として国内外の景気・経済の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの属する不動産販売事業におきましては、用地代・建築コストの高止まりが長く続いてきておりマンション販売価格は高止まりしているなか、同感染症による影響が懸念されたものの、他業種ほどの落ち込みは見られませんでした。

このような事業環境のもと、当社グループにおきましては、社内換気・マスク着用の徹底、座席間隔確保などソーシャルディスタンスの徹底、全従業員の健康管理、PCR検査や抗原検査の活用、厳格な自宅待機基準の運用、時差出勤の推奨、本社オフィス入口に設置したサーモグラフィによる従業員並びに来訪者の体温管理等を徹底致しました。

また、当社グループの主力事業であります不動産販売事業におきましては、従来通り選ばれる良質なマンションづくりに努めてまいりました。販売活動につきましては、活動が制限される中におきましても、WEB商談システムの活用・IT重説への社会実験参加をはじめとした非対面での販売方法の拡充により、ご自宅にいながら物件購入をご検討いただける体制を整えるとともに、マンションギャラリーにお客様がご来場される際には完全予約制とし、ご来場の前に検温をお願いするなど、いわゆる「新しい生活様式」に対応すべく実践してまいりました。建築工事につきましては、社内の設計室スタッフによる厳格な施工管理を実施し、工期遅延予防に努めてまいりました。

さらに、マンション周辺事業におきましてはその拡大と新たな収益源の獲得、今後成長が見込まれる分野への進出に努めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は305億46百万円(前年同期比27.5%減)、連結営業利益は25億51百万円(前年同期比51.6%減)、連結経常利益は25億34百万円(前年同期比52.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は15億56百万円(前年同期比52.8%減)となりました。

なお、当社グループの主力事業であります不動産販売事業においては、引渡基準を採用しており、マンションの売買契約成立時ではなく、マンションの顧客への引渡をもって売上が計上されます。例年、マンションの引渡時期が特定の四半期(当期は第4四半期に引渡が集中する見込み)に偏重する傾向があり、各四半期の売上高及び利益水準は著しく相違する傾向にあります。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①不動産販売事業

不動産販売事業の中でもマンション分譲事業におきましては、当社の強みであります用地取得力やマーケティング力を活かし、お客様を第一に考える厳選した用地取得と細部までこだわった商品企画を行ったこと、新型コロナウイルス感染症対策に努めたこと、建築工事の遅延も生じなかったことなどから、外部顧客への売上高221億67百万円(前年同期比38.0%減)、セグメント利益は21億76百万円(前年同期比60.5%減)となりました。

②その他

既存のマンション周辺事業である賃貸事業、賃貸関連事業、不動産売買・仲介事業等が堅調に推移し、外部顧客への売上高は83億79百万円(前年同期比31.8%増)、セグメント利益は17億16百万円(前年同期比77.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて84億82百万円増加して889億77百万円となりました。主な要因は現金及び預金の減少82億19百万円、仕掛販売用不動産の増加121億66百万円、販売用不動産の増加44億13百万円によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて75億20百万円増加して408億16百万円となりました。主な要因は借入金の増加101億22百万円、支払手形及び買掛金の減少28億69百万円、未払法人税等の減少15億44百万円によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて9億62百万円増加して481億60百万円となりました。この結果、自己資本比率は54.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期（連結・個別）の業績予想につきましては、2020年8月31日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,664,422	11,444,631
売掛金	984,371	479,616
販売用不動産	12,320,162	16,733,757
仕掛販売用不動産	40,119,633	52,286,135
その他	1,398,188	1,117,148
流動資産合計	74,486,778	82,061,288
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,293,657	1,255,710
機械装置及び運搬具（純額）	988,792	945,907
土地	2,271,294	2,353,945
リース資産（純額）	316,286	1,286,576
その他（純額）	45,592	55,467
有形固定資産合計	4,915,623	5,897,607
無形固定資産	51,853	53,204
投資その他の資産		
投資有価証券	216,670	254,892
繰延税金資産	560,328	428,325
その他	262,926	281,760
投資その他の資産合計	1,039,925	964,977
固定資産合計	6,007,402	6,915,789
資産合計	80,494,181	88,977,078

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,788,968	2,918,987
短期借入金	—	218,900
1年内返済予定の長期借入金	7,780,250	14,606,200
リース債務	77,176	133,554
未払法人税等	2,033,140	488,777
前受金	764,407	1,298,671
賞与引当金	209,763	112,359
その他	1,214,684	1,091,386
流動負債合計	17,868,390	20,868,836
固定負債		
社債	—	500,000
長期借入金	14,567,850	17,645,900
リース債務	266,493	1,256,249
退職給付に係る負債	125,064	124,658
役員退職慰労引当金	222,500	226,000
資産除去債務	23,320	23,320
その他	222,530	171,461
固定負債合計	15,427,758	19,947,589
負債合計	33,296,148	40,816,425
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,983,000	1,983,000
資本剰余金	2,871,307	2,871,307
利益剰余金	42,374,619	43,314,082
自己株式	△63,881	△63,983
株主資本合計	47,165,045	48,104,406
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,986	56,245
その他の包括利益累計額合計	32,986	56,245
純資産合計	47,198,032	48,160,652
負債純資産合計	80,494,181	88,977,078

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	42,140,891	30,546,963
売上原価	31,609,346	22,848,106
売上総利益	10,531,545	7,698,857
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	628,032	416,048
給料及び賞与	2,154,415	2,231,218
賞与引当金繰入額	102,711	108,104
退職給付費用	37,352	38,499
役員退職慰労引当金繰入額	3,937	3,500
租税公課	532,485	564,328
減価償却費	42,996	57,857
その他	1,762,538	1,727,945
販売費及び一般管理費合計	5,264,470	5,147,501
営業利益	5,267,075	2,551,355
営業外収益		
受取利息	578	459
解約違約金収入	21,210	14,590
保証金敷引収入	40,485	40,059
助成金収入	7,258	36,339
その他	32,408	36,989
営業外収益合計	101,940	128,438
営業外費用		
支払利息	78,270	131,920
その他	2,936	13,145
営業外費用合計	81,207	145,066
経常利益	5,287,807	2,534,728
特別損失		
固定資産除却損	9,919	—
特別損失合計	9,919	—
税金等調整前四半期純利益	5,277,888	2,534,728
法人税、住民税及び事業税	1,875,386	856,315
法人税等調整額	105,829	121,747
法人税等合計	1,981,216	978,062
四半期純利益	3,296,672	1,556,665
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,296,672	1,556,665

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	3,296,672	1,556,665
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34,222	23,259
その他の包括利益合計	34,222	23,259
四半期包括利益	3,330,895	1,579,925
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,330,895	1,579,925
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産 販売事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	35,781,154	35,781,154	6,359,737	42,140,891	—	42,140,891
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	538,330	538,330	△538,330	—
計	35,781,154	35,781,154	6,898,067	42,679,221	△538,330	42,140,891
セグメント利益	5,503,624	5,503,624	968,963	6,472,587	△1,184,779	5,287,807

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、不動産管理事業、電力管理事業、建設・リフォーム事業、不動産仲介事業及び戸建分譲事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,184,779千円には、セグメント間取引消去△36,361千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,148,417千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産 販売事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	22,167,678	22,167,678	8,379,285	30,546,963	—	30,546,963
セグメント間の内部売上高 又は振替高	59,838	59,838	2,144,699	2,204,537	△2,204,537	—
計	22,227,516	22,227,516	10,523,984	32,751,500	△2,204,537	30,546,963
セグメント利益	2,176,299	2,176,299	1,716,787	3,893,086	△1,358,358	2,534,728

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、不動産管理事業、電力管理事業、建設・リフォーム事業、不動産仲介事業及び戸建分譲事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,358,358千円には、セグメント間取引消去△296,687千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,061,670千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。